

第2回加藤敏夫フェロー（2020年度）決定

理事長 寺杣 友秀

東南アジア在住の若手研究者を対象とした、第2回2020年度加藤敏夫フェローの応募（2019年9月30日締切）が行われ、6件の応募がありました。応募者の中から、日本数学会、東南アジア数学会から構成される加藤敏夫フェロー選考委員会において慎重な審議・検討がなされ、最終的に Lê Quy Thuong 氏（下記）が選考されました。理事会での承認を経て同氏に通知し、2020年度に開始して、受け入れ大学による1年の研究滞在をする運びとなりました。

なお、2019年6月10日の応募開始から9月30日締め切りという限られた応募期間内で、現在活躍されている東南アジア在住の若手数学者に声をかけてくださった方々、またフェロー採択の際に受け入れを引き受けてくださった方々など、多くの数学会会員の方々から加藤敏夫フェローへの御協力をいただきました。断腸の思いで受賞者を一人に絞ることになりましたが、お陰様で、多くの優秀な応募者に恵まれました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

今後も東南アジア若手数学者育成という目的のもと、加藤敏夫フェローを継続していく所存ですので、御協力何卒よろしくお願い申し上げます。

今回加藤敏夫フェローを受賞された方と受け入れ研究者は次の通りです。

Lê Quy Thuong 氏 : Assistant Professor of Department of Mathematics,
VNU University of Science

受け入れ研究者 : 安田 健彦氏 東北大学大学院理学研究科・教授

※所属及び職種は原稿執筆現在